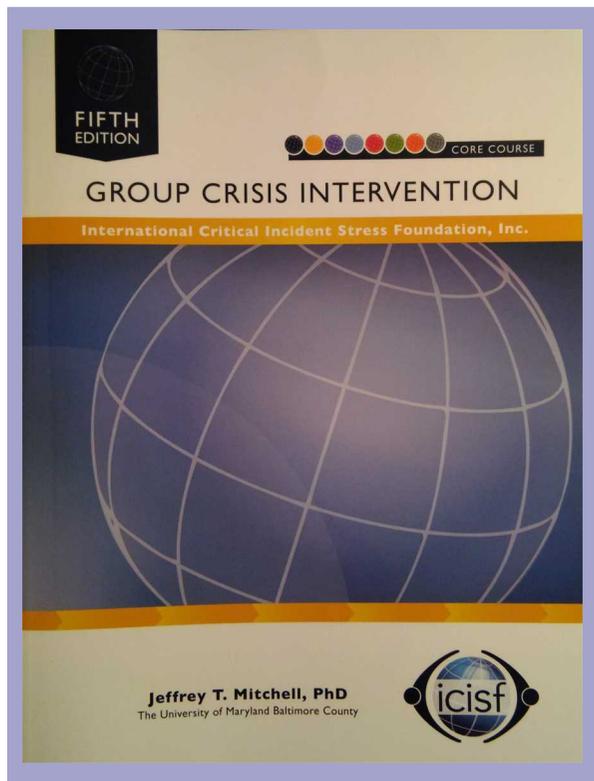


CISMセミナーのご紹介



私たちの職場とメンタルケア

事故や重大インシデントなどに遭遇した場合、早期でのメンタルケアが効果的であることは広く知られるようになりました。

一般的になされるメンタルケアの対応として思い浮かぶことは、カウンセリングを受けたり心療内科などを受診することでしょう。

しかし事故後、当事者がいきなり専門家の門をたたくことは、多くの場合は抵抗感が生じ易く、直ぐに出来ることではありません。また、一般の専門家が航空従事者の業務内容を理解することも難しいと言えます。

そこで、職場の同僚が正しい知識を身につけることにより、事案が発生した時点でいち早く対処することで、心のファーストエイドとしての対応が可能となり、事故後のインパクトを和らげ、それによってより早い職場復帰を目指すことが期待できます。

職場の同僚は、業務に精通しているため、ケアのタイミングをきめ細かく職場で調整したり、当事者が感じている業務上の辛さを理解することが可能です。

迅速な対応をするためには、専門的な知識を学ぶことが重要です。必要な知識を持ち合わせていない、もしくは誤った知識をもとに対応すると、事故の当事者だけでなくケアを実施する側も傷つく結果になってしまいます。

CISMは、職場の同僚が危機介入に関する知識を学び、標準化された手順で危機介入を行うことによって、より安全に実践できるように開発されたプログラムで、メリーランド大学教授のミッチェル博士により提唱されました。

CISMのとりくみとセミナー



CISMセミナーでは、支援のための知識を学び、講義やロールプレイを通して体験的に理解を深めることができます。

CISM活動はカウンセリングではありません。事案後の初期対応を実施し、その後のより本格的なケアに向けて専門家へ橋渡ししていくことが、CISM活動の基本となります。

Aviation CISM JAPAN 事務局が開催するCISMセミナーでは、国際的な組織であるICISF（International Critical Incident Stress Foundation）の標準化されたカリキュラム（2日間）が提供されます。

受講すると、**ICISF** の認定証が発行されます。

講師は、ICISFの認定インストラクターである中濱慶子Ph.Dが勤めます。



《講師紹介》

中濱 慶子氏

☆精神療法学(博士)

☆臨床心理士

☆日本欧州共通サイコセラピスト

☆ICISF認定教官: Group/Individual Intervention Training trainer

CISMセミナーのプログラム



Aviation CISM JAPAN 事務局では、以下のセミナーを開催しています。

■ Group Crisis Intervention ■

(プログラムコース：14時間)

CISMのもっとも特徴的な概念を学びます。
本コースでは、ケア対象者をグループで扱い、グループに対する危機介入の方法を学びます。また、そのためのコミュニケーションスキルも学びます。



■ Assisting Individuals in Crisis ■

(プログラムコース：14時間)

グループに対してケアを行う場合でも、より丁寧に、個別に対応する必要がある場合が生じます。

本コースでは、コミュニケーションスキルを学び、ケア対象者を個別にサポートする方法を学びます。



■ Recurrent ■

(プログラムコース：7時間)

一度セミナー（Groupコース、Individualコース）を受けても、情報量が多いため、実践に結びつけるのは難しいと感じるかもしれません。

本コースでは、Groupコース、Individualコースの内容を復習し、また実際のケースを総括しながら、CISMの理解を深めることが可能です。本コースは、Groupコース、Individualコースそれぞれを修了済みの方が受講対象となります。

主催：Aviation CISM JAPAN 事務局



(日本乗員組合連絡会議／航空安全推進連絡会議)

email: cism-japan@jfas-sky.jp